

児童の生活構造の時代的変遷に関する研究(第4報)-その2-子どものしつけにみられる親の教育的配慮

大妻女大家政 ○関真知子, 平井信義, 鈴木真一, 仙波千代, 千羽香代子, 前川富子, 馬場吉三
石井とめ子, 八倉巻和子, 大竹智恵子, 石橋すみえ, 今井節子, 大石まり子

目的・方法-その1に同じ。親の教育的配慮について次の8つの面から考察を加えた。

1. 集団施設への参加, 2. 生活空間(子ども部屋, 寝室, 赤い寝) 3. 生活習慣(起床・就寝時間, 着脱, 洗面) 4. きまりを守るしつけ(T.Vの視聴時間の容認, T.Vを見ながらの食事, おやつ・小遣いの与え方, 玩具, 争い) 5. 児童文化(昔話, 雑誌, 本) 6. 母親のしつけに対する関心(教育情報源, 雑誌) 7. しつけに対する意見の不一致(父母間, 祖父母と母親間) 8. 子どもへの期待-である。結果-①各町村とも集団施設への参加は90%以上である。②子ども部屋をもつ幼児は約30%にすぎず, 多くは玩具のある部屋, 居間, 台所等で遊んでいる。③寝る部屋は, 三・四世代家族の場合, 年寄の部屋で寝る幼児と両親の部屋で寝る幼児に二分されるが, 1人の布団で寝る者が多い。④赤い寝は, 皆瀬の周辺部において教育的配慮が徹底していた。⑤起床は午前6・7時, 就寝は午後8~9時である。⑥着脱・洗面は, 親にいわれからする幼児, 争い・こもらう幼児が多く, 5歳児の発達面からやや遅れている。⑦T.Vの視聴時間は約2時間で, 親は容認している。⑧T.V視聴と食事の区別は, 区別する家庭としない家庭に二分される。⑨おやつ・小遣いの与え方は不規則で徹底しない。⑩祖母がいても昔話をするものが少く, 伝承文化の衰えが一部で見られる。⑪母親の教育情報源は, 核家族の場合, T.Vや本から得る者もいるが, 多くは祖母や近所の母親である。⑫しつけの問題に関し, 父母間では母親にゆかされ, 祖父母と母親間では祖父母にゆずる面が多い。⑬母親の子どもに対する期待は, その多くが丈夫でのがのび育つことである。